

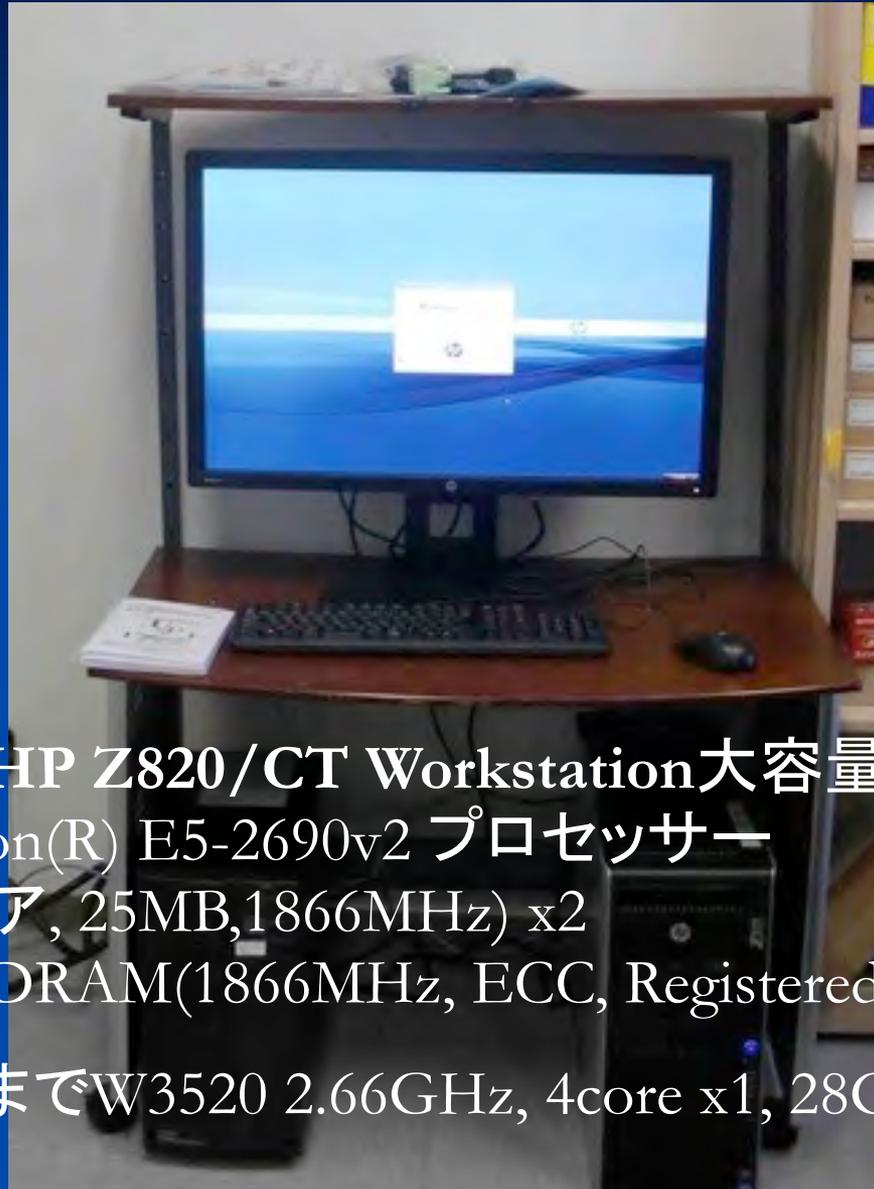
スポーク空洞 マルチパクタリング解析 その4

京都大学化学研究所
粒子ビーム科学
岩下

現状

- 藤澤さんが体調不良により3月いっぱいまで離脱。
現在後任を検討中。
- 4月後半久保さんが引き継ぎを行い、再開の予定。
- 新規PCは
 - ◆ ウイルスバスターをインストール完了
 - ◆ cst_studioインストール完了
 - ◆ mathematicaインストール完了
 - ◆ リモートデスクトップでKEK内からであれば遠隔操作できる状態
 - ◆ vpn接続用アカウントにより接続確認。

STF棟のPC,UPS



LJ452AV-AVPTHP Z820/CT Workstation大容量メモリ搭載モデル
インテル(R) Xeon(R) E5-2690v2 プロセッサー
(3.00GHz, 10コア, 25MB,1866MHz) x2
64GB DDR-3 SDRAM(1866MHz, ECC, Registered, 8GBx8)

これまでW3520 2.66GHz, 4core x1, 28GB

今後の予定

- 今月中に引き継ぎ
 - 材質変更（PEC→ニオブ）など新たな解析条件を試す
 - マクロに機能追加し作業効率向上
 - 処理能力向上させた新計算環境による解析開始
- 後任の選定
- 今年度中にはMP解析の手法の確立
- JAEAと協力して空洞製作工程の最適化
- 表面観察の方針（どこをどの様に見るか）を立てる。